

2月議会はじまる 来年度予算111億円増を暮らし・福祉へ

2月14日に施政方針と教育行政方針が示され、22日から代表質問が始まります。2月議会の提案議案は38件（条例18件、予算9件、契約1件、一般3件、人事1件、諮問3件、承認1件、報告2件）となっています。

<予算総額は前年度比111億円増>

一般会計の予算総額は、前年度比100億円増で1,768億円。特別会計（国保、介護、後期高齢者医療）も前年度比7億6,800万円増で797億9,500万円。公営企業会計（下水道事業）も前年度比3億8,900万円で229億1,900万円。予算総額は、前年度比111億5,700万円増で2,795億1,400万円です。

<新規事業>

●高齢者への支援

- ・ゴールドシニア事業（「チケット75」は1万5千人に拡大）
- ・「チャレンジ75」として、スマホ購入費補助、スマホ講座
- ・補聴器購入補助（非課税世帯で3万円補助）

●子育て環境の充実

- ・子育て世帯同居・近居スタート応援補助（10万円）加算あり
- ・こども家庭センター（親子スペース）整備事業（総合窓口設置）
- ・子どもの受験料支援補助（大学受験料、模擬試験費用補助）

●保健衛生の向上

- ・带状疱疹ワクチン接種補助（生ワクチン上限3千円、不活性ワクチン2回まで、1回当たり上限7千円）
- ・AED整備事業（コンビニなど約180店舗に設置）
- ・若年がん患者在宅療養支援（訪問、入浴、福祉用具貸与など）

●教育環境の充実

- ・学校給食食物アレルギー等対応補助（お弁当持参の保護者に経費の一部を補助）

介護保険料の見直し

介護保険料が3年に1度の見直し（第9期）で、標準保険料が引き上げられます。低所得者に配慮した見直しとしていますが、物価高騰が続き、国保税も引き上げられるなかでは、納得できません。保険料基準額で400円の引き上げです。

敬老祝金支給について

支給対象の見直しで、80歳、99歳を対象外とし、88歳（2万円）、100歳（5万円）、100歳以上（1万円）とします。75歳以上の高齢者（ゴールドシニア）への支援を充実させます。

クリーンセンター整備

クリーンセンターの老朽化が進み、昨年は稼働が止まるアクシデントもありました。設計・建設・運営を一括で実施するDBO方式で実施。運営は20年間。整備に500億円、運営費に250億円、合計750億円となります。現クリーンセンターとクリーンスパの間に新クリーンセンターを建設します。焼却能力が1日600トから423トと減らす計画、ゴミの減量も求められます。



日本共産党市川市議団報告

2024年2月発行 第346号

市川市八幡1-1-1 市川市役所控え室

047-334-1111(18218)